

# 黄 金 人



株式会社マジカルリミックス  
代表取締役CEO **赤間 公太郎** さん

## 仕事の流儀 見積み以上の仕事を

仙台市青葉区錦町公園近くのビル最上階に、おしゃれなカフェのようなオフィスを構える企業があります。その代表が、赤間公太郎さんです。

赤間さんは、涌谷町で生まれ、涌谷高等学校卒業後、仙台市にあるデザイン・デジタル系専門学校に進学。「当時、ウェブ関連やデジタル系の業界は、革新的なジャンルで、その業界に飛び込むと専門学校への進学を志望しました。」

専門学校でデザインやインターネットの知識と技術を身に付け、仙台市にあるデザイン制作会社に就職。就職し3年が経った頃、深夜に及ぶ残業の日々から脱却することを念頭に、平成14年にフリーランスに転職しました。平成17年からは、専門学校で非常勤講師としてウェブ制作講義を現在に至るまで担当してきました。

フリーランスに転身後も、自分に無理を強いる日々が続いていた赤間さん。そういった

中、講師を務める専門学校の教え子が就職の相談に訪れ、社員として雇用することとなりました。無理をしない社員の働きやすい環境を作りながら、社会的信用を得て取引先を開拓するために、法人を設立。社名には、略称で親しまれるようあえて長い名前にし、音楽用語で「再編集」を意味する「リミックス」

やデジタル分野の企業にはミスマッチな空想的な意味合いの「マジカル」を使うことで生まれるギャップを取り入れるなど、赤間さんのさまざまな戦略が込められています。「元々『飛躍』という言葉が好きではなく、飛躍すればいずれ下降を伴い、飛び続けるようにすると無理が強いられます。私自身も社員も無理をせずに持続的に自然体でいるためには、低空飛行が理想。積極的に攻めず、ゲームキャラクターで言えば後方支援役の魔法使いのような存在を目指しています。」

創業から14年目を迎える現在、6人の社員を抱え、仙台北社以外に埼玉県川越市に支店を開設。創業時の思いは変わらず、一般的に激務な日進月歩のデジタル

産業界においても、社員全員の健康に配慮した、残業しない理想的な職場環境を実現しています。赤間さんは、「従業員を守ることが、社長のミッション」と言います。設立時に入社した教え子は、勤務を続けています。また、会社経営の他に、ホームページ制作関連書籍を10冊以上執筆。その他にも仙台商工会議所など5団体で専門家登録をし、インターネット事業の窓口相談や講演会の講師を務めるなど、多角的に活躍しています。

「仙台商工会議所の窓口相談は、予約待ちも出ているほど好評です。『マジカルリミックス』に相談したいと思っただけのような応対を心がけています。その成果として、これまでの総取引先は100社を超え、常時取引が続く企業も30社に及びます。」

そんな赤間さんの根幹となる仕事の流儀は、「見積み以上の仕事をやる」。ノウハウや研究などを日々蓄積していくことで、無理なく自然体で、顧客が求める仕様や要望以上の付加価値のあるサービスを提供しています。



広報わくや

令和3年7月1日

通算792号

【編集・発行】

涌谷町 企画財政課 企画班

〒987-0192

宮城県遠田郡涌谷町字新町裏153番地2

TEL 0229-43-2112

FAX 0229-43-2693

E-mail gr\_kikaku@town.wakuyamiyagi.jp

URL http://www.town.wakuyamiyagi.jp

【印刷】

株式会社印刷所